

2021年度 香川大学教育学部編入学

論 述 試 験 問 題

学校教育教員養成課程（小学校教育コース 保健体育領域）
学校教育教員養成課程（中学校教育コース 保健体育領域）

1. 監督員の「始め」という指示があるまで、問題用紙を開かないこと。
2. 「始め」の指示と同時に、解答用紙の所定の欄に受験番号を必ず書くこと。
3. 監督員の「やめ」の指示で直ちに筆記用具を置き、解答を終了すること。
4. 解答は1問毎に別様の解答用紙に記載すること。
5. 解答用紙には受験番号、解答以外のことを書き込まないこと。
6. 用事があるときは、黙って手を挙げて、監督員の指示を受けること。
ただし、問題の内容についての質問には応じない。
7. 問題用紙、解答用紙、下書用紙は試験終了後に提出すること。

下記の三つの問題に対する解答を、解答用紙に記入しなさい。

問題1

体育授業における主要な教授技術であるマネジメント技術および相互作用技術について説明し、子どもの授業評価との関連について述べなさい。

問題2

体育授業における「はじめ（導入）場面」および「まとめの場面」において行われる効果的な学習指導のあり方について論じなさい。

問題3

以下の文章を読んで「スポーツの文化的価値」について記述しなさい。

2006年トリノ冬季オリンピック、クロスカントリースキー(以下、クロカン)の女子チームスプリントの決勝。決勝ではノルウェー、スウェーデン、フィンランドそしてカナダがメダル争いすると予想されていた。

決勝がスタート。先頭集団は予想通りフィンランド、カナダ、ノルウェー、スウェーデンの4チーム。3周目首位のカナダにノルウェー、スウェーデン、フィンランドが僅差で争っていた時アクシデントが発生した。坂を駆け上る途中でカナダ選手のストックが折れてしまった。ストックは推進力を得るために重要な役割を担っている。片方を失うと前に進む力が半減してしまう。その結果カナダ選手は後退し4位になった。クロカンのルールではストックやスキーなどの用具が破損した場合、交換することが許されているが予備のストックを持ったカナダチームのスタッフは異変に気付いていなかった。

しかし、その時に誰かがカナダ選手にストックを渡した。その後選手は激しく追い上げ、4週目で3位に浮上。そして首位を走っていた優勝候補のノルウェーを追い抜いて再び首位に躍り出た。その後も首位争いが繰り広げられた結果、優勝はスウェーデン、カナダチームは準優勝だった。ゴールした後、当の選手はストックを渡してくれたのはカナダチームのスタッフではないことを知った。それはノルウェーチームのヘッドコーチだった。もし彼がストックを渡していなかったらノルウェーは銅メダル以上が確定していた。

数日後、カナダの選手はノルウェーチームのヘッドコーチに会い、お礼を述べた。その時、彼は「普通のことをしてただけだよ」と言った。インタビューでは「あれは反射的な行動だった。考える必要はなかった。みんなが2本のストックを使って戦うべきだ。競技は表彰台に上がることを目指して最善を尽くすものだが、あの時最も大切だったのはお互いに助け合うことだった。」と述べた。

※笹川スポーツ財団 大野益弘「オリンピック・パラリンピックアスリート物語」

https://www.ssf.or.jp/ssf_eyes/history/olympic_athlete/21.html

クロスカントリースキーの精神より引用・改編